

文部科学省 学校卒業後における障害者の学びの支援に関する実践研究事業

働くという社会との接続体験を通じて学び、
自立に向けた社会的生活を身につける生涯学習プログラムの開発と
全国普及に向けたモデル化の実践研究

社会生活力学習度 アンケート調査・検証結果



アンケートの調査方法

■ 期間

2019年8月4日 - 2020年2月16日

■ 対象

- ① 就労体験プログラムに参加した
川崎市内福祉事業所の利用者様
- ② 同行参加した支援員様

■ 実施方法

就労体験プログラム参加後、翌日以降にアンケートに回答

■ アンケート内容

スポーツやエンターテインメントのワクワク・ドキドキするような“晴れの舞台”において、“働く”“他者と関わる”という体験を通じて学び、社会の中で混ざりあいながら様々な経験を重ねることは、自らの新たな可能性を伸ばし、自立した豊かな人生を送るために必要な“社会生活力”を身につけるきっかけとなる。

この仮説を元に参考指標として、特別支援学校、福祉事業所、社会教育の現場で等で活用されている、障害のある人が自立し豊かな生活を送る力“社会生活力”を高めるためのトータルプログラム・マニュアル「自立を支援する社会生活力プログラム」のモジュールに沿って内容を構築。プログラム参加「前・当日・後」で、それぞれどのような学びがあったのかを調査・検証した。

※アンケート詳細は次ページ



「自立を支援する社会生活力プログラム・マニュアル」
中央法規出版 (2006/04)
(著) 奥野 英子, 佐々木 葉子, 興沼 理, 関口 恵美, 大場 龍男

第1部 生活の基礎をつくる

- モジュール1 健康管理
- モジュール2 食生活
- モジュール3 セルフケア
- モジュール4 時間管理
- モジュール5 安全・危機管理

第2部 自分の生活をつくる

- モジュール6 金銭管理
- モジュール7 住まい
- モジュール8 そうじ・整理
- モジュール9 買い物
- モジュール10 衣類管理

第3部 自分らしく生きる

- モジュール11 自分と障害の理解
- モジュール12 コミュニケーション
と人間関係
- モジュール13 男女交際と性
- モジュール14 結婚
- モジュール15 育児

第4部 社会参加する

- モジュール16 情報
- モジュール17 外出
- モジュール18 働く
- モジュール19 余暇
- モジュール20 社会参加

< 就労体験プログラム参加者様用 >

就 労 体 験 ア ン ケ ー ト



以下の項目について、アンケートに御協力をお願いします。

質 問	答 え (該当するところに○をつけてください)
参加した就労体験の日付を記入をお願いします	月 日
(1) あなたの年齢を教えてください。	年代 10代 20代 30代 40代 50代 60代 70代
(2) あなたの就労経験の有無を教えてください	A. 企業 就 労 経 験 : あり (年前) なし B. 福祉 事業 所 就 労 経 験: あり なし
(3) あなたの障害の有無について教えてください。障害のある方は○をつけてください。※精神障害のある方は、疾患名についても可能な限りお答え願います。	1. 障害なし 2. 障害あり ・障害者手帳は所持していない ・身体障害 () ・知的障害 (B2 B1 A2 A1) ・精神障害 (3級 2級 1級) → 主な疾患名 () ・発達障害 高次脳機能障害 難病
(4) ビープデザイン就労体験企画の参加経験回数を教えてください。	初めて 2~5回目 5~10回目 11回目以上 20回以上
(5) 今回はなぜ参加しようと思いましたか？	
(6) 当日どんな仕事をしましたか？	
(7) 就労体験に参加する前日、気をつけたこと、やってみたことはありますか？(当てるはまるものすべてに○)	1.早寝・早起き 2.当日持参する飲食物の準備 3.お風呂に入る、爪を切る歯を磨くなど身だしなみを整えた 4.電車やバスの時間を調べた 5.心配や不安なことを誰かに相談した 6.もらったお金をどうするか考えた 8.持ち物などを準備・整理した 9.日用品・洋服など必要なものを購入した 10.着ていく服を準備した 16.天気予報や行く場所などを調べた 17.交通費などお金を準備した 17.就労体験のついでに、行きたい場所などを考えた 18. 就労体験でどんな仕事をするか考えてみた
(8) 就労体験当日、気をつけたこと、やってみたことはありますか？(当てるはまるものすべてに○をつけてください)	1.体調管理 1.休憩時間を大切に 2.食事の取り方 3.身だしなみ 4.時間に遅れないように気をつけた 5.仕事中の安全や危険に気をつけた 6.お金や貴重品の管理 8.そうじ・整理整頓 9.自分の得意なことや苦手なことを考えた 10.服装 11.自分の障害について誰かに話したり、サポートをお願いした 11.自信を持ってやってみた 12.いろいろな情報を得る努力をした 12.自分からあいさつしたり、コミュニケーションをとるようにした 16.事前に調べたことを活かした 18.楽しく働くようにした 18.態度や姿勢に気をつけた
(9) 就労体験を経験してから、気をつけるようになったこと、チャレンジしてみたことはありますか？(当てるはまるものすべてに○をつけてください)	1.体調管理 1.睡眠時間 2.食生活 3.身だしなみ(清潔にする) 4.時間の管理 5.通勤中や仕事中の安全や危険について 6.お金の管理(貯める、使い方など) 7.住んでる家について(引越し・模様替えなど) 8.家のそうじ、ゴミ出し 9.買い物の計画 10.洋服について(洗濯、お手入れ、購入など) 11.自分の性格・生活・障害への理解 12.あいさつや他人とのコミュニケーションの大切さ 16.情報を調べる・利用する 17.外出の大切さ 18.働く意味 18.仕事の種類 19.休みの日の過ごし方 20.自分がこれからやりたいこと(趣味・仕事など)を考える 20.社会に参加すること
(10) 今回の体験は、自分の自信となりましたか？	1 とてもそう思う 2 そう思う 3 あまり思わない 4 全く思わない
(11) 今回の就労体験を経験してみて、他の仕事にチャレンジしてみたいと思いましたか？	1 とてもそう思う 2 そう思う 3 あまり思わない 4 全く思わない
(12) 就労体験に参加して、学んだこと、勉強になったことがあれば教えてください。	
(13) 就労体験に参加して、自分の中で変わってきたことや、意識していること、気づいたことなどはありますか？	
(14) その他、感想や伝えたいことがあればご記載ください(自由記述)	

< 同行した支援員様用 >

ア ン ケ ー ト (支 援 者 用)



アンケートに御協力をお願いします。いただいた内容は、本企画の検討以外には使用いたしません。利用者さん個々で異なると思いますが、全体を通しての御意見で御回答をいただければと存じます。

質 問	答 え (該当するところに○をつけてください)
参加した就労体験の日付を記入をお願いします	月 日
(1) 今回、参加された支援をしている方(利用者さん)の主な状態像を教えてください。	1 社会に出ていきつかけを作っているかと思われているところ 2 企業就労に向けて事業所に通い始めたところ 3 企業就労を具体的に目指して活動しているところ 4 その他 ()
(2) 今回、利用者さんを参加させようと思った動機・目的は何ですか？(自由記述)	
(3) 就労体験に参加する前日、右の中から利用者さんが気をつけていたことがあれば教えてください。(当てるはまるものすべてに○)	1.早寝・早起き 2.当日持参する飲食物の準備 3.お風呂に入る、爪を切る歯を磨くなど身だしなみを整えた 4.電車やバスの時間を調べた 5.心配や不安なことを誰かに相談した 6.もらったお金をどうするか考えた 8.持ち物などを準備・整理した 9.日用品・洋服など必要なものを購入した 10.着ていく服を準備した 16.天気予報や行く場所などを調べた 17.交通費などお金を準備した 17.就労体験のついでに、行きたい場所などを考えた 18. 就労体験でどんな仕事をするか考えてみた
(4) 就労体験当日、右の中から利用者さんが気をつけていたこと、チャレンジしていたことはありますか？(当てるはまるものすべてに○をつけてください)	1.体調管理 1.休憩時間を大切に 2.食事の取り方 3.身だしなみ 4.時間に遅れないように気をつけた 5.仕事中の安全や危険に気をつけた 6.お金や貴重品の管理 8.そうじ・整理整頓 9.自分の得意なことや苦手なことを考えた 10.服装 11.自分の障害について誰かに話したり、サポートをお願いした 11.自信を持ってやってみた 12.いろいろな情報を得る努力をした 12.自分からあいさつしたり、コミュニケーションをとるようにした 16.事前に調べたことを活かした 18.楽しく働くようにした 18.態度や姿勢に気をつけた
(5) 利用者さんが就労体験を経験してから、気をつけるようになったこと、チャレンジするようになったことはありますか？(当てるはまるものすべてに○をつけてください)	1.体調管理 1.睡眠時間 2.食生活 3.身だしなみ(清潔にする) 4.時間の管理 5.通勤中や仕事中の安全や危険について 6.お金の管理(貯める、使い方など) 7.住んでる家について(引越し・模様替えなど) 8.家のそうじ、ゴミ出し 9.買い物の計画 10.洋服について(洗濯、お手入れ、購入など) 11.自分の性格・生活・障害への理解 12.あいさつや他人とのコミュニケーションの大切さ 16.情報を調べる・利用する 17.外出の大切さ 18.働く意味 18.仕事の種類 19.休みの日の過ごし方 20.自分がこれからやりたいこと(趣味・仕事など)を考える 20.社会に参加すること
(6) 通常(日常)の支援とは別に、今回の就労体験は利用者さんへどういった学びがあると感じましたか(自由記述)	
(7) その他、感想や伝えたいことがあれば御記載ください(自由記述)	

参考：当プログラムがもたらす学びの領域(仮説)

当プログラムが寄与する学びの領域

自立を支援する社会生活力プログラム (SFAⅡ) のモジュールに照らし合わせた学び

健康管理 (モジュール1)

食生活 (モジュール2)

セルフケア (モジュール3)

時間管理 (モジュール4)

安全・危機管理
(モジュール5)

金銭管理 (モジュール6)

住まい (モジュール7)

そうじ・整理 (モジュール8)

買い物 (モジュール9)

衣類管理 (モジュール10)

自分と障害の理解
(モジュール11)

コミュニケーションと人間関係
(モジュール12)

情報 (モジュール16)

外出 (モジュール17)

余暇 (モジュール19)

社会参加 (モジュール20)

働く (モジュール18)

STEP 4 仕事の応用

働く
(正規就労・アルバイト)
継続して働く (定着)

STEP 3 仕事の基礎

働くこと・自分・職業・仕事
を知り理解する

STEP 2 社会

社会に出る・人と関わる

STEP 1 生活

自己管理
ライフサイクルの確立

学校から社会の移行期
自立に向けた生涯の各ライフステージ

社会生活力
(Social Function Ability)

就労定着が困難な場合でも新しく見出せる働き方

アンケート調査・検証結果①

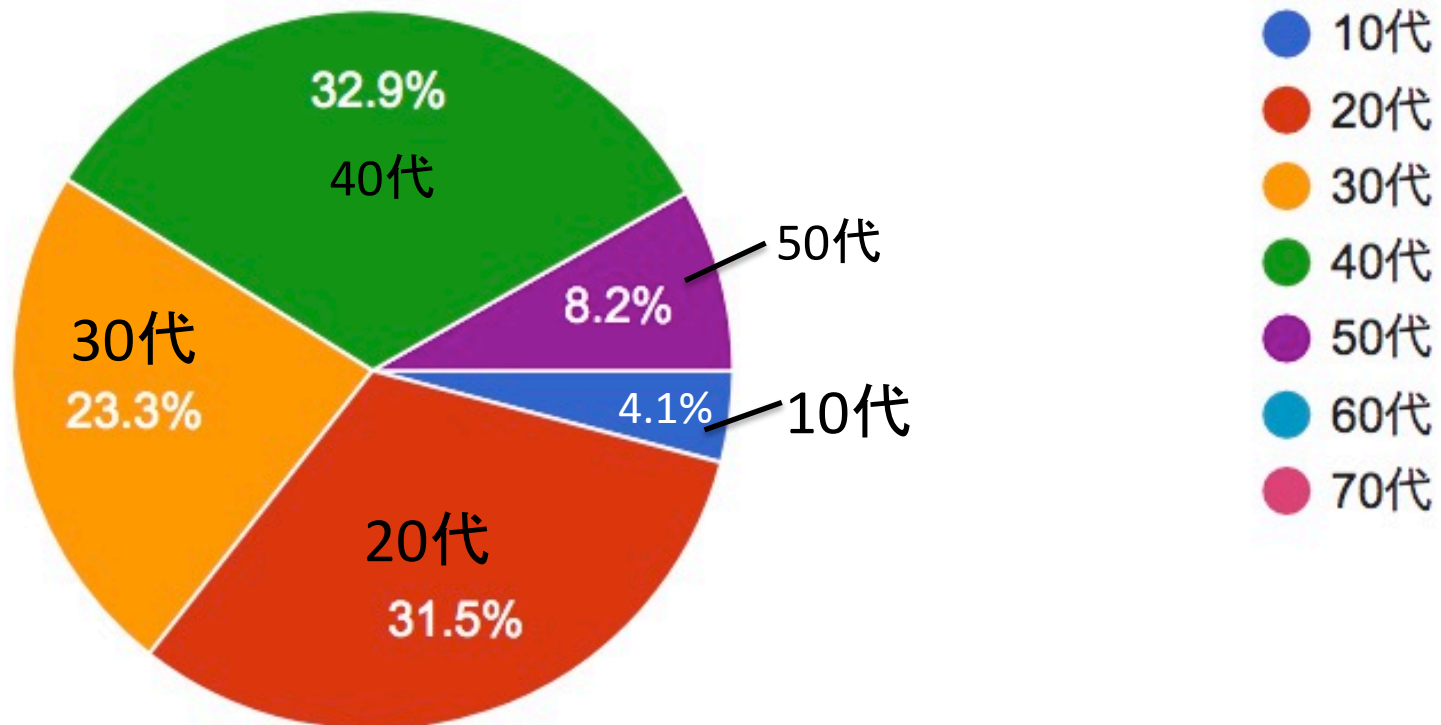
就労体験プログラムに参加した川崎市内福祉事業所の利用者様の
アンケート結果（有効回答数：146名）

アンケート調査・検証結果①

就労体験プログラムに参加した川崎市内福祉事業所の利用者様のアンケート結果（有効回答数：146名）

< 年代 >

- 10代から50代までと、参加者の年齢層は幅広い
- 10代から30代が全体の6割を占め、若い世代の参加が多い

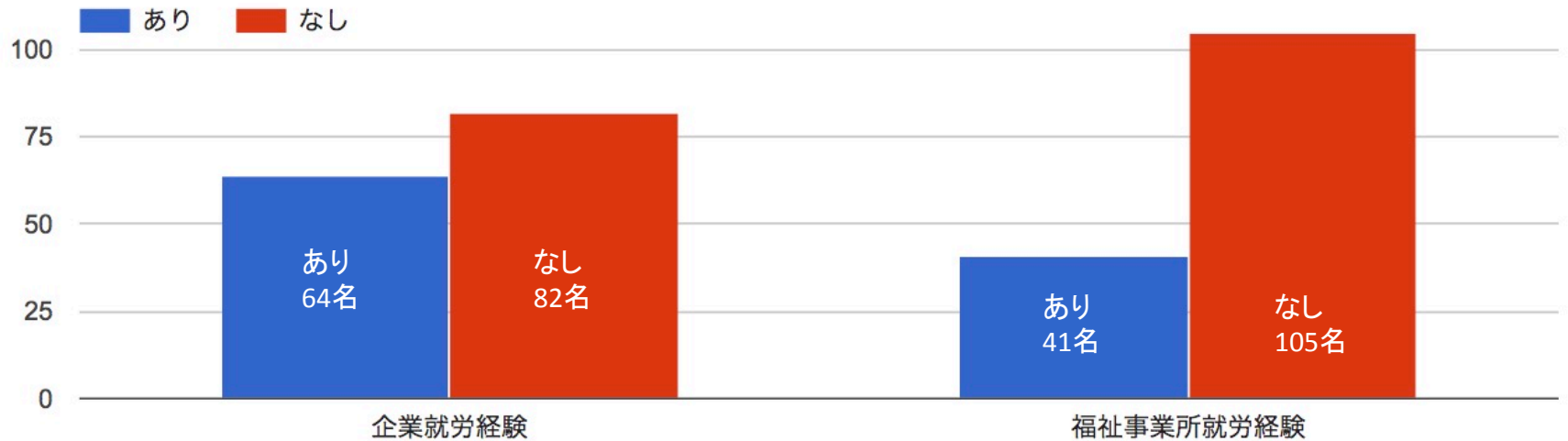


アンケート調査・検証結果①

就労体験プログラムに参加した川崎市内福祉事業所の利用者様のアンケート結果（有効回答数：146名）

< 就労経験の有無 >

- 企業への就労経験がある方は4割程度、福祉事業所での就労経験(A型事業所通所経験)がある方は3割程度
- 約6割が社会に出て働いた経験がない
- 障害者が社会に出て学ぶ・働くといった経験や機会が少ないことがわかる



アンケート調査・検証結果①

就労体験プログラムに参加した川崎市内福祉事業所の利用者様のアンケート結果（有効回答数：146名）

< プログラムに参加した理由（自由記述で136名の回答） >

- 色々な経験を積みたい、社会経験をしたい、挑戦したい、人と接したいからという声が多くみられた
- またそれによって体力等、自分に自信をつけたい、ステップアップしたいなどの声も多数あった
- 参加者の大半は、いろいろな経験をしながら人と接することを望んでいる

サッカーが好きだから

社会体験

色々な就労体験をしたいため

経験のため

楽しいから

就労体験をしたいと思ったから

就労に向けて色々な経験がしたかったため

色々な人との出会いがあり、生活に活かすことができるため

金がほしかったから

自分の基礎を伸ばすため

就労に向けて自信をつけるためとリハビリ

一つ一つのお仕事を意識し、周りとの協調性を目標に参加しました。

してみたかったから

支援センターからの紹介

色々な体験をしたいと思ったからです。

色々な就労体験をして、自分に合っている仕事を探すため

スポーツイベントが好きなため参加しました。

支援員の方に勧めていただいたので

来場者に対しての気持ちいい接客を目標に参加しました。

フロンターレが好きなので

色々な仕事を体験してみたかったため

有償ボランティアなので

これから働いていくことに向けて、自分の自信にするため。

社会経験として

昨年と比べてどれくらい体力がついたか試してみるため

担当者に言われて

担当の人に勧められたため

どんなものか体験してみたかった

今まで参加したことのなかったイベントに参加したく、今回参加した

前に参加したとき楽しかった。

前に行ったことがあって楽しかった。

色々な経験を積みたいと思ったからです。

様々な就労体験を学び、身につけたいと思い参加しました。

フロンターレから続けて

体力づくり、集団で行動することを経験するため

経験を積むため

他の就労体験をし参加をして、今後の就労に向けてスキルアップをした

いと思い参加しました。

就労経験が空いたため

観戦目的

体力を試すためと、自分がしてもらい嬉しかったことをしたかったから。

仕事をしたかったから

やりたいと思った

楽しそうだと思った

自分の基礎を上げるため

就職していく上で、自分がやってみたかった仕事と切り替えをやってみ

たかった。

丁寧な仕事をしたかったから

色々なことに挑戦したいと思い参加しました。

久しぶりに体を使う仕事をしたかったから。

なんとなく

やりたい仕事を探すため

またやりたいと思った。

アンケート調査・検証結果①

就労体験プログラムに参加した川崎市内福祉事業所の利用者様のアンケート結果（有効回答数：146名）

< プログラムに参加した理由（自由記述で136名の回答） >

会場が楽しかった。
 中部の勧めで始めました。
 自分がどのくらい働く体力があるのか知るため
 就労活動が近く、勉強のために参加しました。
 力試し
毎回楽しいので
 障害枠での就労ってどんな感じなのか体験したかったから
お客様の笑顔、コミュニケーションの向上
体験を通して、社会に触れるため
色々な経験をしたいと思ったので参加しようと思いました。
 暇つぶしとお金
色々なことをしてみたい
 仕事に慣れるため
体験を通じて社会に触れるため
色々なものに挑戦しようと思ったから
 前回の土曜日体験ができなかったので、11日に参加をしました。
 スタッフさんに勧められたから
 就労に向けて体力づくりに取り組み、他者とも協力し合いながら仕事を
進めていきたいと思ったから。
 バスケが好きだからです。
 お給料をもらうため（面白そうだから）
 たまたま募集を見つけました。
 百合ヶ丘就労援助センターの紹介で
 体を動かす作業が好きなので参加しました。
就労に向けてステップアップしたいなと思ったから
 プレイブサンダースのファンだから
いろいろやってみようと思ったから。

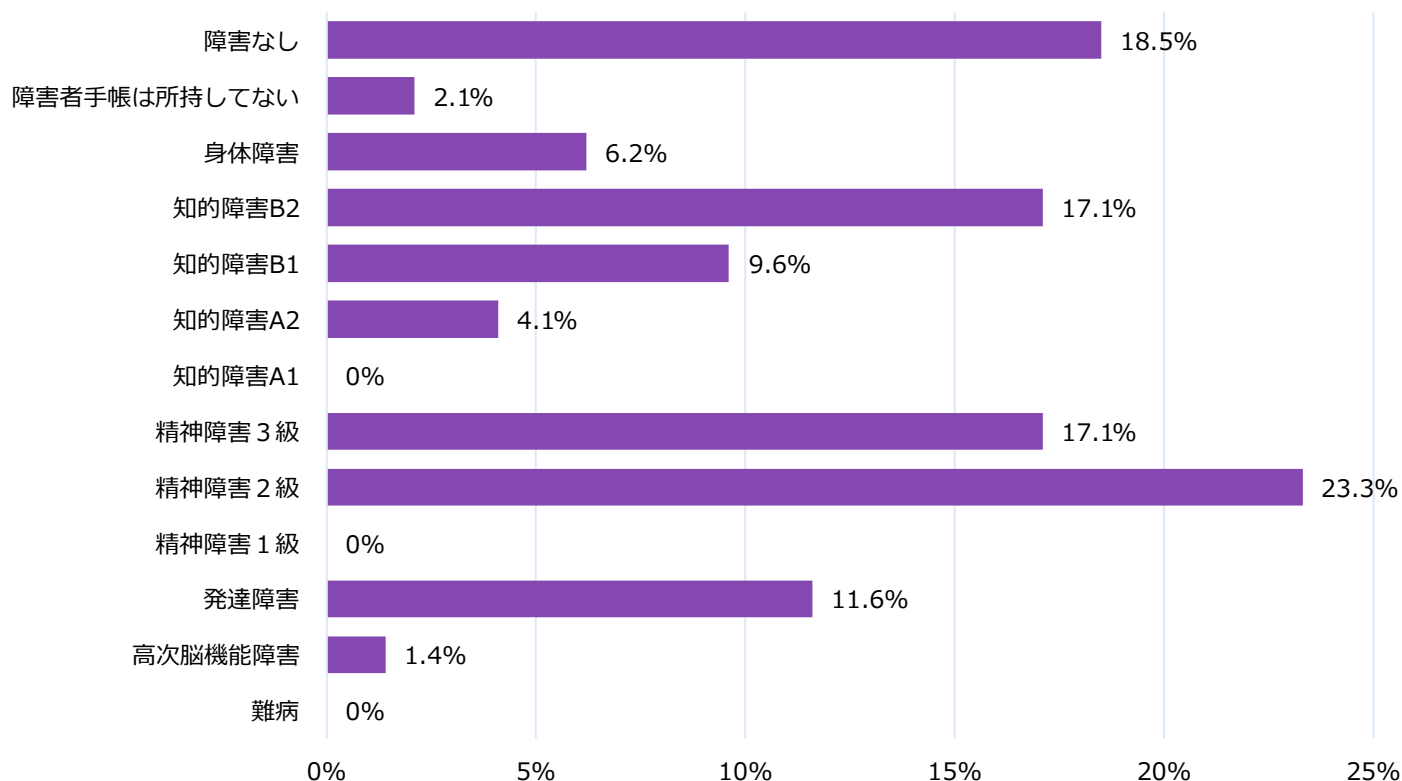
いろんな経験を積みたいと思ったからです。
色々な人たちと出会える
 小遣いが欲しかったから。
 一つ一つのお仕事をより意識して行うことと周囲との協調性を高めたく
参加致しました。
 私は体を動かす仕事が好きで、観戦に来るお客様を笑顔にしたいと思い
 参加させていただきました。
 収入を得たいと考えた
 長時間働けるか確かめるため
 とりあえず参加しようと思った。
 就労体験をしてみたかったから
映画関係の仕事を体験してみたいと思い参加させていただきました。
おもしろそうだから
 お金に困ってた。
 就労フロアに入って、やったことのない仕事をたくさんチャレンジした
かったから。
 映画が好きだから参加しました。
 色々な就労体験をして、自分に合っている仕事何かを見つけたい為
色々な経験をしてみたいからです。
良い経験になるから
 はなみずきのお仕事以外の仕事に興味があったから
色々なことを経験したいと思いました。
色々みんなと仕事をしたかったから。
 バスケの仕事が面白いから参加しました。
 仕事内容に興味があったので
 時間があり、仕事の体験ができるため。

アンケート調査・検証結果①

就労体験プログラムに参加した川崎市内福祉事業所の利用者様のアンケート結果（有効回答数：146名）

< 障害属性 >

- 身体・知的・精神・発達の全障害属性の方々がプログラムへ参加
- 身体・発達が約1割、知的が約3割、精神約4割
- 障害なしと答えた方は約2割で、ひきこもりや、手帳を保有しない方々も参加

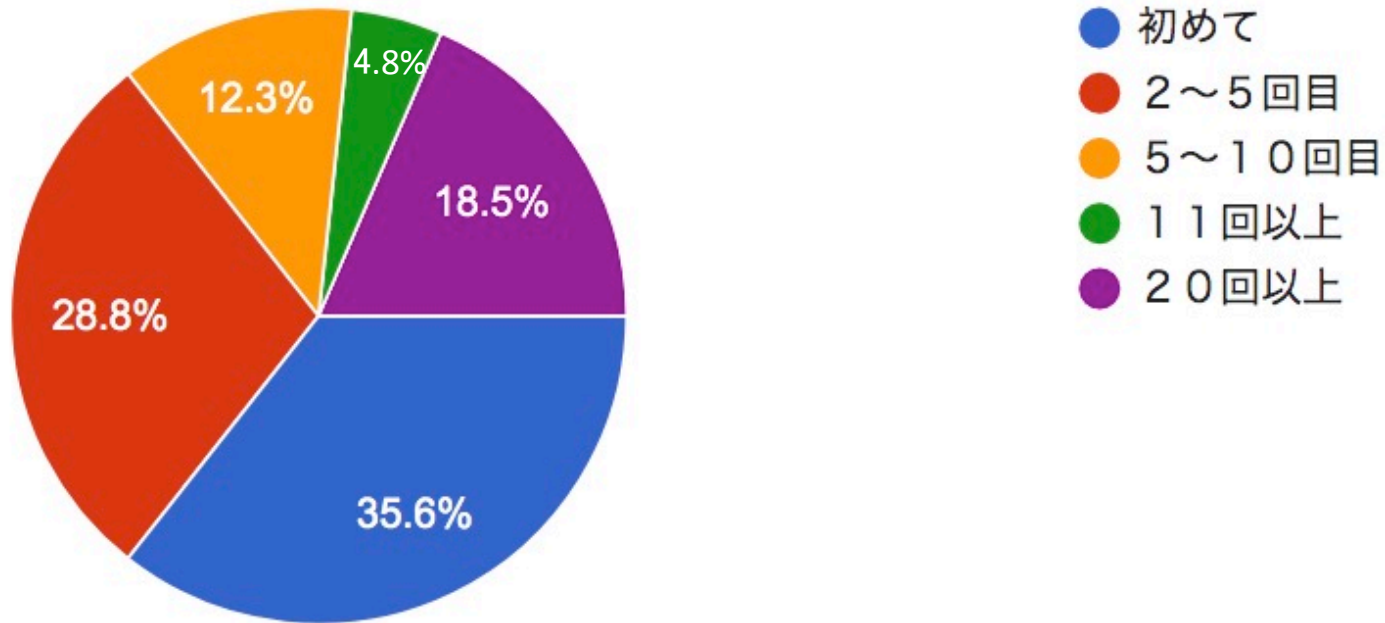


アンケート調査・検証結果①

就労体験プログラムに参加した川崎市内福祉事業所の利用者様のアンケート結果（有効回答数：146名）

< 参加回数 >

- 複数回参加している方が約7割（実践事業の対象期間以前からプログラムを実施している）
- 10回以上参加している方も2割おり、プログラムの選択肢が多く、都度内容が違うことが寄与している
- 年間通して開催しているため、いつでも気軽にチャレンジ・参加できるプログラムとなっている
- 一度参加して社会に出た方が諸般の事情で事業所に復帰し、このプログラムに再び参加されることもあり、いつでも戻ってこれる場所にもなっている



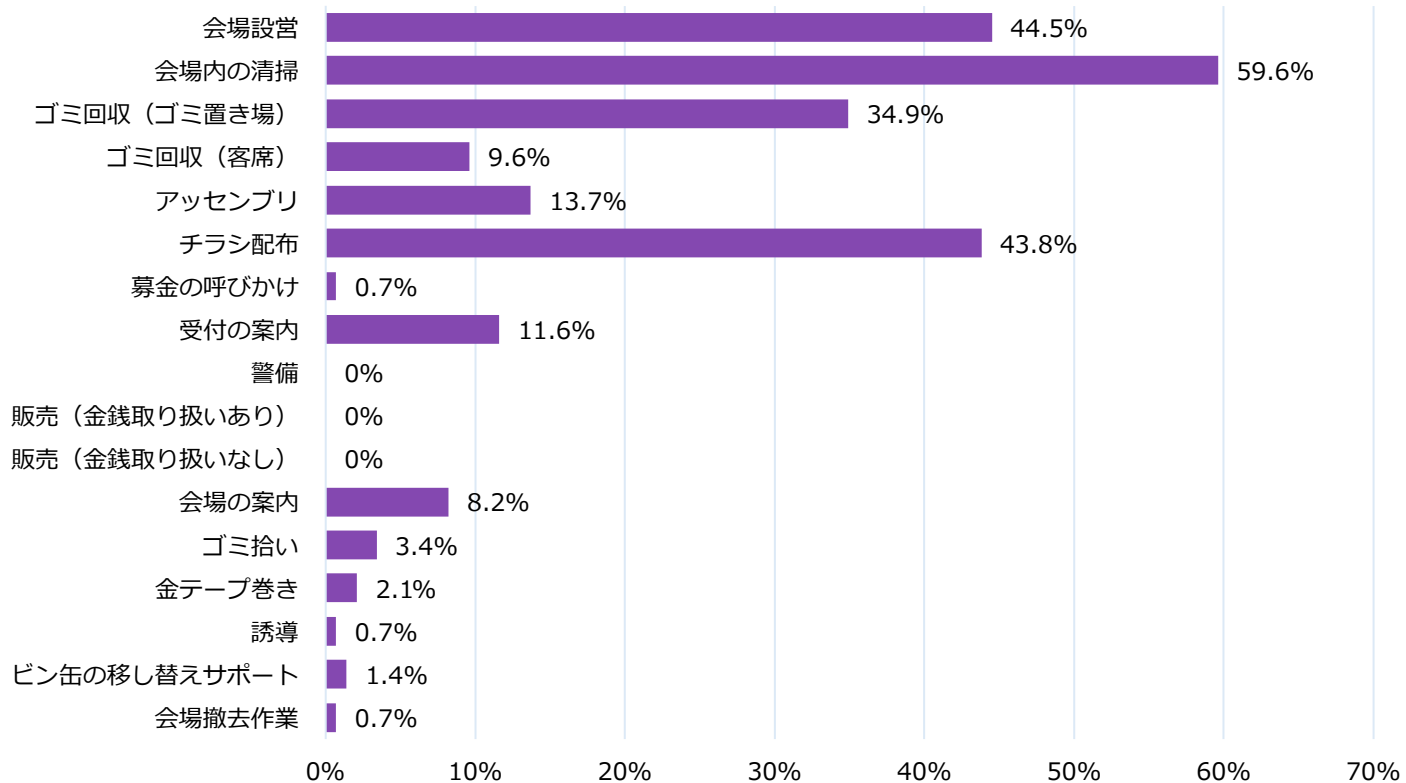
アンケート調査・検証結果①

就労体験プログラムに参加した川崎市内福祉事業所の利用者様のアンケート結果（有効回答数：146名）

< 体験したプログラム（仕事）の種別 >

■ プログラム（仕事）の種類は10種類以上を用意

会場設営のサポート・清掃、ゴミ回収・分別のサポート、チラシ等の配布などがメイン



アンケート調査・検証結果①

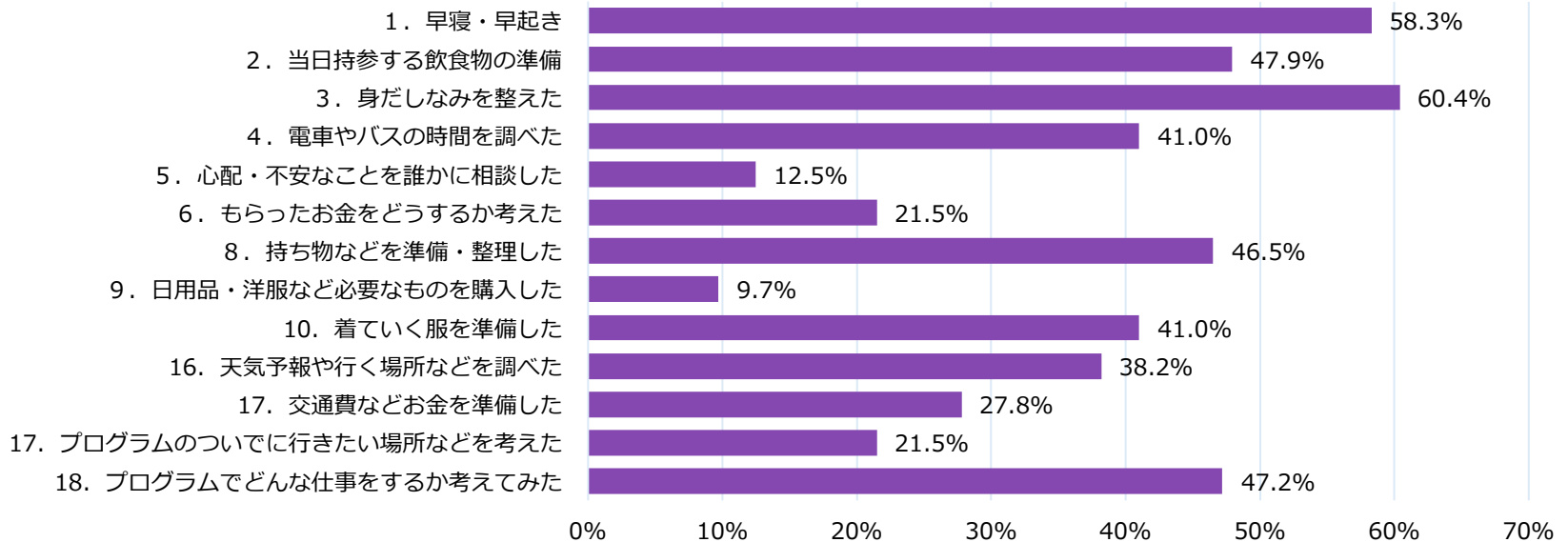
就労体験プログラムに参加した川崎市内福祉事業所の利用者様のアンケート結果（有効回答数：146名）

< プログラム参加前に気をつけたこと >

■ 約5割以上の回答を得られた項目の該当モジュールは以下の通り

- ・ 生活の基礎をつくる（モジュール1.健康管理、モジュール2.食生活、モジュール3.セルフケア、モジュール4.時間管理）
- ・ 自分の生活をつくる（モジュール8.そうじ・整理、モジュール10.衣類管理）
- ・ 社会参加する（モジュール16.情報、モジュール17.外出、モジュール18.働く）

■ 事前には、早寝早起・準備・身だしなみを整えるなど「生活の基礎をつくる」部分、持ち物や洋服などの準備など「自分の生活をつくる」部分、情報を調べる・想像して考えるなど「社会参加する」部分における学びがあった



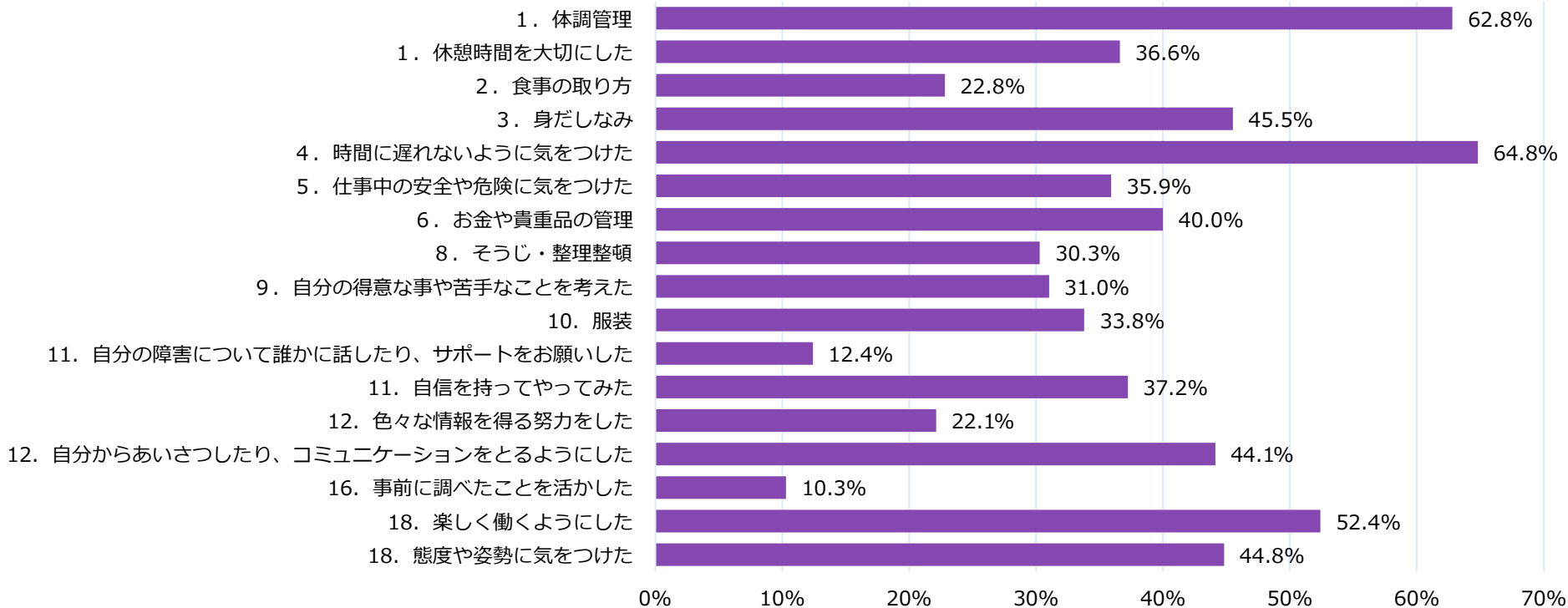
※ 番号は「社会生活カプログラム」のモジュールに沿った番号

アンケート調査・検証結果①

就労体験プログラムに参加した川崎市内福祉事業所の利用者様のアンケート結果（有効回答数：146名）

<プログラム参加当日に気をつけたこと>

- 約5割以上の回答を得られた項目の該当モジュールは以下の通り
 - ・生活の基礎をつくる（モジュール1.健康管理、モジュール3.セルフケア、モジュール4.時間管理）
 - ・社会参加する（モジュール12.コミュニケーションと人間関係、モジュール16.情報、モジュール17.外出、モジュール18.働く）
- 当日は、体調管理・身だしなみ・時間管理などの「生活の基礎をつくる」部分、
コミュニケーション・楽しく働く・態度や姿勢に気をつけるなど「社会参加する」部分における
学びがあることがわかった



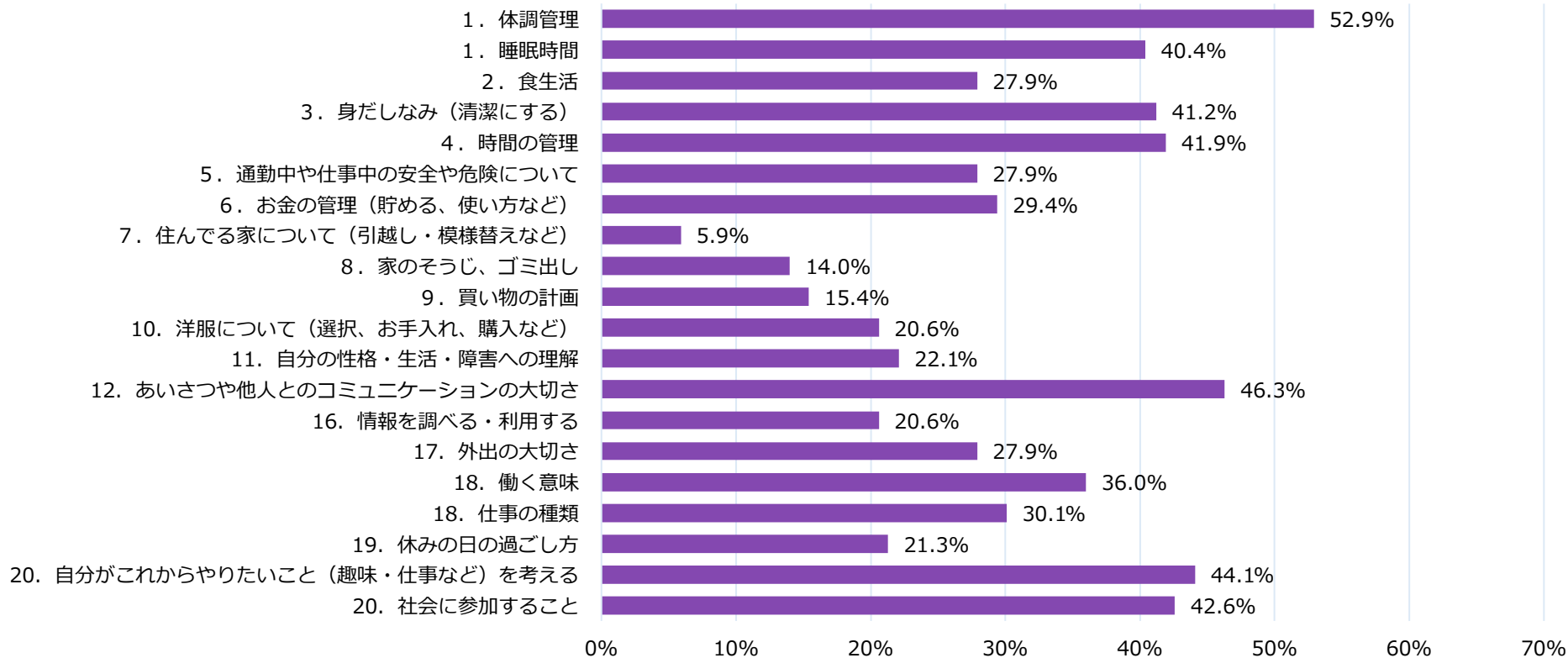
※ 番号は「社会生活カプログラム」のモジュールに沿った番号

<プログラム参加後に気をつけたこと>

■ 約5割以上の回答を得られた項目の該当モジュールは以下の通り

- ・生活の基礎をつくる（モジュール1.健康管理）
- ・自分の生活をつくる（モジュール12.コミュニケーションと人間関係）
- ・社会参加する（モジュール20.社会参加）

■ 参加後は、体調・時間管理などの「生活の基礎をつくる」部分、コミュニケーションなどの「自分の生活をつくる」部分、働く意味・これからやりたいこと・社会に参加することを考える「社会参加する」部分における学びがあった



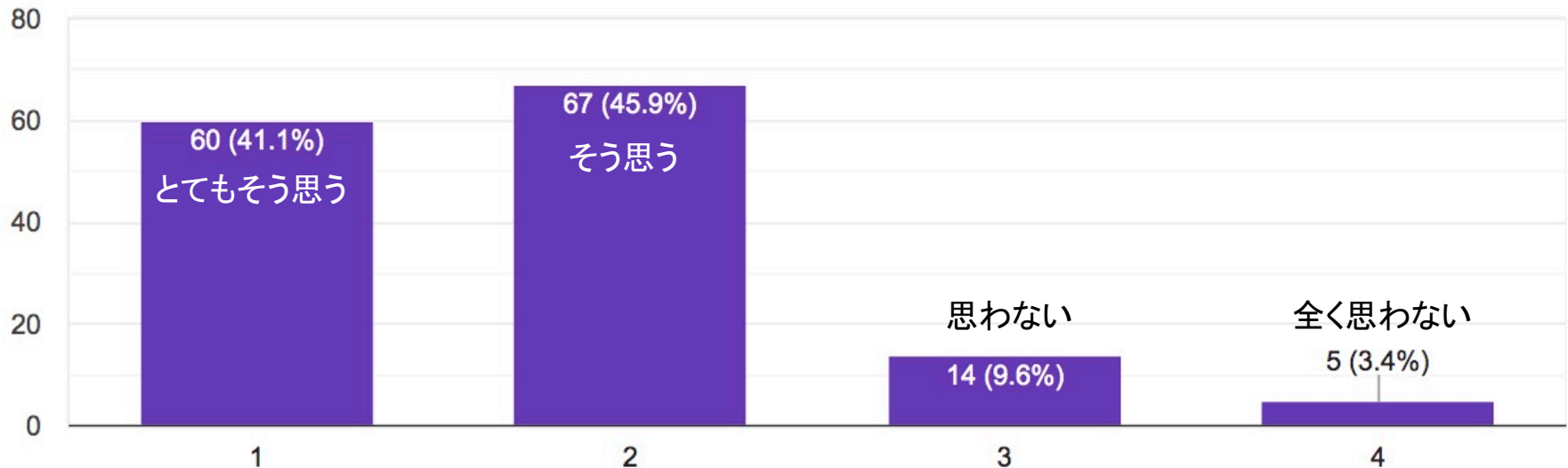
※ 番号は「社会生活カプログラム」のモジュールに沿った番号

アンケート調査・検証結果①

就労体験プログラムに参加した川崎市内福祉事業所の利用者様のアンケート結果（有効回答数：146名）

< プログラムに参加して自信につながったか >

- 自信につながったという方が約9割
- 逆にできないことなどがあったり、他人と比較などをして、自信を失う方も1割いたが、自分自身の得意不得意を理解する場にもなっている

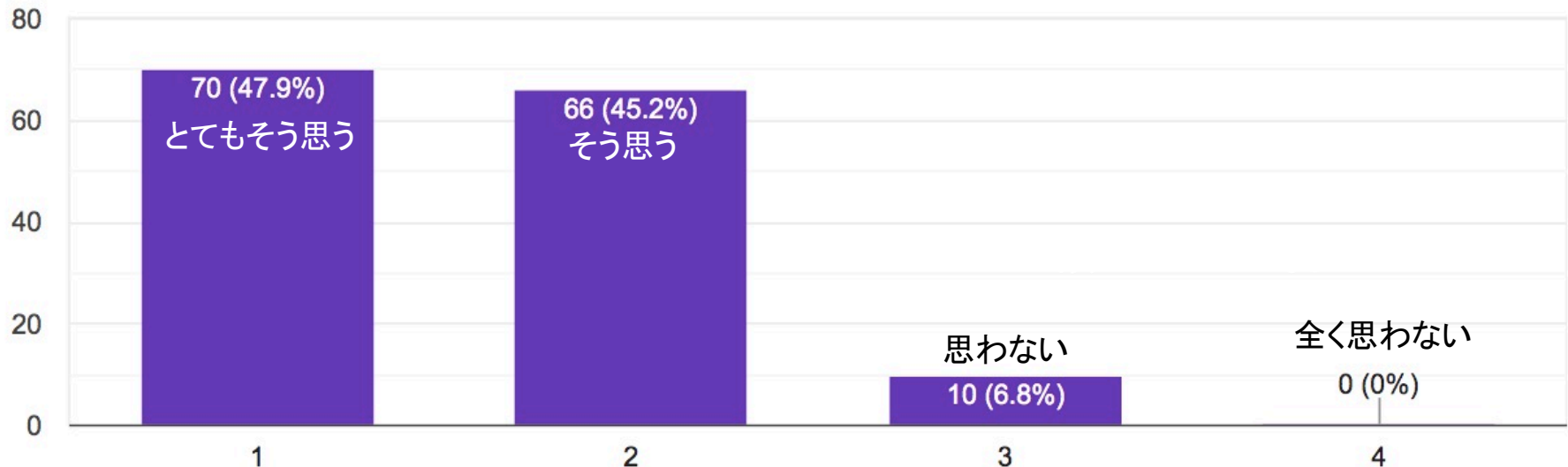


アンケート調査・検証結果①

就労体験プログラムに参加した川崎市内福祉事業所の利用者様のアンケート結果（有効回答数：146名）

< 他のプログラムにチャレンジしたいと思うか >

- ・ チャレンジしたいという方が9割
- ・ 全く思わないという方は0で、プログラムに参加することで、自信を失ってもまたチャレンジしたいという、モチベーションが生まれている



アンケート調査・検証結果①

就労体験プログラムに参加した川崎市内福祉事業所の利用者様のアンケート結果（有効回答数：146名）

< プログラムに参加して学んだこと（自由記述で95名の回答） >

- 挨拶や“ありがとう”などのコミュニケーション、チームワーク、協調性を学んだという声が大半をしめた
- 障害者の方々の生活環境は限定的で、他者と接する機会が非常に少ないことがわかった
- 普段と違う環境下で、普段は接する機会がない方々と接することが、これらの学びを生み出している

思ったよりもきちんとした仕事で楽しかったです。

体力をつけることの大切さ

一緒に働いて、自分だけの世界だけにしない

声掛けの意味、意図を考えるようにした。

お仕事以外にも周りとの連携の大切さ

人と接客も体験できた

次回からペットボトルを持ってくるようにしたいと思いました。

人とのコミュニケーション

他のグループが他の作業に行っている間にその場所をフォローすること

チームワークの大切さを深く感じた。

初めてなので余計なことはしないのもひとつだと思いました。

就労体験中の協調性やコミュニケーション等

時間を意識してやりました。

ちょっとした軽い会話でも大事かもしれないと学んだ。

笑顔でお客様と接することが目標だったのですが、皆さん笑顔で接すると笑顔で返してくれて、さりげないことだけでも意識一つで変わるものだとして学習した。

人と関わることの大切さ

チームワークがすごく大切だと思いました。

“ありがとうございました”と言う

丁寧にちゃんとできるようになった。

アンケート調査ではまだ一人では難しいかもしれないけど、経験できて良かったです。

障害のある人とのコミュニケーションを特に取りたいと思います。

現場で働く人の大変さ、お金を稼ぐことの大変さを学びました。

就労の大変さ

お客様の立場になって、けがをしない様、つまづかない様に、転ばない様に、心がけていきたいです。

チームワーク、協調性

準備の大変さ

掃除をすると、他人も気持ちよく、自分も気持ちよい

道路だったからプレッシャーを感じました。

みんなに声をかけられた。

一つのこと集中せず、周りを見る

笑顔に過ごせた

掃除のやり方を学びました。

もっと挨拶を頑張ろうと思いました。

バスケットに興味が出ました。

人が喜んでいるところを見て嬉しくなりました。

コミュニケーション

チームワークの大切さと、接客の際のタイミングです。

時間通りに仕事を行うこと

コミュニケーションの大切さ

手先の器用さ

みんなで目標や仕事を共有することの楽しさを学びました。

時間管理の大切さ

気配り

丁寧に挨拶するとお客様も喜んでくれるんだなと思った。

社会に属することの楽しさを少し理解した。

大声出せた。

体に接客が染み込んでたのかな

前回やったことがありましたが、違う作業を学びました。

アンケート調査・検証結果①

就労体験プログラムに参加した川崎市内福祉事業所の利用者様のアンケート結果（有効回答数：146名）

< プログラムに参加して学んだこと（自由記述で95名の回答） >

とどろきアリーナに初めて行ったので、そこで仕事ができること。
報連相の大切さや時間管理や体力の配分について勉強になった。

些細なことでも感謝されることもあることです。

配布でよければ又参加したいetc...

体力づくりの大切さ。

掃除の大変さ

やってみると思ったよりもよくできる

コミュニケーションが大事だなと思いました。

足元注意

体調が悪い時は、家でゆっくり休んだ方がいいこと

外に出ることの大切さ、他人とのコミュニケーションの大切さ、相手のことを理解する考えの大切さをこの一年間で学んで勉強になりました。

人との関わり合いを大切に

やはりコミュニケーションは必要な

仕事する仲間との協調性と接客等のコミュニケーション

私が机を拭いていた時に横にいた参加者が机の淵を拭いたのを見て「あ、そこも拭くのか」と思い勉強になりました。

はたらくことの大変さ

立ち仕事の大変さがわかった

チームワークができないと思いました。

時間を見て意識して、時間に間に合うことの大切さを学びました。

人数が少なくても、作業ができること。

一日の流れが分かってきた。

時間を読んで移動すること、あいさつの仕方で他者とのコミュニケーションがよくなることを学びました。

階段は怖かったけど、ゆっくり降りることができた。

小さな作業でもちゃんと仕事していることや、動く場として実際に自分が参加して、たくさんのことを学びました。

挨拶が大切

自身の気分が変調しやすいことを再確認した。

思っていたより皆さん優しく

みんなで仕事できたのでよかった

社会に出ることの大切さ

自分にはあまり体力がないこと、同じことを長時間やっていると飽きてしまうこと

コミュニケーションの大切さ、マナーの大切さ

休憩中でも健常者の方々が驚かない配慮が大切だと思った

コミュニケーション能力の向上になったと思う

バスケットボール好きなので楽しかった。

小さな作業でもちゃんと仕事していることや、動く場として実際に自分が参加してたくさんの事を学びました。

あいさつが大切

自分の気分が変調しやすいことを再確認した。

長い立ち仕事は疲れる

みんなが嫌がる作業ができてよかったと思う

色々な人とのコミュニケーション

体験を通じて、些細な仕事もやらないのと違うんだなと知りました。

たくさんの人が関わってイベントを作っている。

当日までに体調を整えてくるのが大切だと思った。

あいさつすることで、色々なコミュニケーションが取れたと思う

人と接する機会があり、お客さんひとりひとりに親切に感謝の気持ちをもって接する

アンケート調査・検証結果①

就労体験プログラムに参加した川崎市内福祉事業所の利用者様のアンケート結果（有効回答数：146名）

< プログラムに参加して、自分の中で変わったこと、気づいたこと（自由記述で100名の回答） >

- 体調管理、コミュニケーション、外に出る、働くことの大切さに気がついた方が多い
- 自分のことだけでなく、他者（社会）を意識するようになっていたのがわかった
- 「気がつく」「考える」機会となり、能動的な学びや行動に結びついていることがわかった

笑顔や声の大きさの意識

体調管理を前日から意識した。

体力をつけることの大切さ

あいさつなどして元気をもらった

声掛けを自然にすることを意識するようになった。

人とのコミュニケーションが増えてきた

自信がついた

素早く行動

だいぶこだわりが少なくなってきたような感じがします。

これからも参加して頑張ればもっと変わってくると思います。

気配り

自分一人でも就労体験ができること

チャレンジ精神が色々な面で身についた。

批判されたように感じてすぐ起き上がる、とにかく経験する、工夫が大事と思いました。

スタッフさんの一人として、態度や姿勢などは常に意識しています。

積極的に参加するようになった

同じイベントに参加して、同じ作業をしているので、だいぶ慣れてきたように思う。

去年と比べてかなり体力がついていました。

少しずつふるえや眼球上下運動が起こった時も早々にスタッフさんに相談できたことも大きな成果でした。（ホウレンソウ）

うまくできるようにする

1人でいることが多くあまり会話ができなかった。

色々なことにチャレンジすることに、自分自身で自信がついた。

うれしいです

お客さんに丁寧接客する。

人とのコミュニケーションを取ることの大切さや、お客さんとの対応の取り方をもっと学ぶべきだと思います。

この経験で確実に自信がついたと感じました。

体調管理に気を付けるようになった。

障害を持っている人とのコミュニケーションを何とかとれるよう、自分で考えて、相手に思いやりを持っていきたいです。

視野の広さ

体力不足に気づいた

たくさんの人とあいさつをして、片付けの大切さを改めて感じた。

会社の人たちとたくさん話が出来ました。

他の人に声をかけることが出来た。

柔軟な考え

ゴミをしっかりと拾えた

普段から時間を守れなかったけど、時間をもう少し意識するように気づきました。

掃除が少しできた。

かがむのは大変だけどまたやりたいです。

思ったよりも自分には体力があることに気づいた。

きれいにする、掃除をする

楽しさと感謝

自分に向いていること、できないこと（向いていないこと）

試合会場のバックヤードの仕事は、ファンの方と一緒に活動するような仕事なのかなと思いました。

先走らないように気をつけました

コミュニケーション、あいさつ

人と接することはそれほど難しいことではないと感じました。

将来どのような仕事に就きたいかより考えるようになった。

アンケート調査・検証結果①

就労体験プログラムに参加した川崎市内福祉事業所の利用者様のアンケート結果（有効回答数：146名）

< プログラムに参加して、自分の中で変わったこと、気づいたこと

（自由記述で100名の回答） >

多少自信がついてきた

外に出て、仕事をする楽しさを感じるようになった。

腰が痛くなりました。

体の足の震えだけは気をつけてる

カバーを素早くやることを意識しましたが、これを覚えるようになりたいと思っている。

体調管理がとても大事で、休憩時間の過ごし方が大事でもあること。他者とのコミュニケーションの大切さや、仕事のやりがいについて意識した。

他の人と自分の接客態度の違い等です。

又、参加したいなーと思っているけど、引っ越してしまうからどうしようと思う。

楽しく働きました

清掃が遅すぎるのももう少し早くできるようにしたいです。

思い切ってやってみる、みたいと思うようになった。

川崎ブレイブサンダースがもっと好きになりました。

7割くらいでの「妥協」

この一年間参加して、自分の中のこだわりや考え方なども変わりました。また来年も参加したいです。

お客様に不快な思いをさせないこと

気配りが大切

お仕事する方達と協力しあって出来るようになってきている

他の人と協力して作業を行う大切さを知ることができました。

はたらくことの大変さ

自分がどれくらいの時間働けるのか

色んな仕事ができるようになった。

お金の使い方を気を付けた。

あまり変わらない

お客様に不愉快な思いを絶対にさせないこと。

就労体験は色んな人に出会えるのですごく楽しいですし、色んな経験が出来るので参加したいです。

気配りが大切かな。

こだわりがなくなってきた感じがします。

暗くなったけど、ゆっくりできました。

あまりない。

あんまり変わらない

挨拶や態度はとても大事な事だと思いました。

挨拶をする

立ち仕事は大変そうだと思います。

スタッフの人側がわかった

普段から歩くことを全くしてないので、歩き回らただけで疲れてしまった

体力がないため体力のいる職場では働けないと思った

沢山の方が見えて、声をかけると答えてくれる方もいて良い経験になりました

普通ということがいかに高レベルな事なのかを痛感させられた
業務の説明を受ける際にはメモをしっかりと取ると決めました

目標につながった。

あいさつや態度はとても大事な事だと思いました。

あいさつをする

わからないけど自信がついたと思う

お客様が楽しく試合を観戦できるように心掛けました。

気配りは大切だな

少しずつ意識が外に向くようになってきました。

働く大変さ

考える力が少しずつ身につくような感じがします。

皆さんが楽しく作業すること

仕事の世界を知ることができた。

人と接するのは面倒な中にも楽しさもあるのかな？

自分の行う仕事が大体わかってきた

アンケート調査・検証結果①

就労体験プログラムに参加した川崎市内福祉事業所の利用者様のアンケート結果（有効回答数：146名）

< その他感想など（自由記述で81名からの回答） >

- プログラムの内容（仕事）が大変だったが、楽しかったと答えた方が多い
- プログラム中に与えられた仕事をやり遂げることで達成感を得ることができ、それが満足度に繋がっている
- 「〇〇したい」という、ポジティブなモチベーションへと繋がっていることがわかる

貴重な経験をさせていただき、ありがとうございました。

また参加したいです。

とても楽しかったです。

楽しかった。

ボランティアの就労体験ですが、少しでも手当てを上げてほしいと思います。

知らないことも多く、会話が少し難しく感じた

今後も様々な就労体験をしたいと思っています

また次回参加したいです。

意識調査のアプリを早く改善してほしいです。

また参加できるイベントがあれば参加したいです。

参加してよかったです。ありがとうございました。

今後も様々な活動を体験したいと思っています。

とても楽しめました。

とても楽しい時間をありがとうございました。

また機会がありましたらよろしくお願ひします。

知らないことばかりで圧倒した

また機会があれば参加したいと思います。

仕事楽しかった

スタンプラリーをして楽しかったです。

当日自分も参加できてとても楽しかったです。

また就労体験に参加したいです。

今回初めての就労体験をしました。緊張もあり、バタバタでしたが、こういうのも経験と思い、これからの就職に活かせればと思います。

昼食とお茶が出るのは有り難い！！

楽しかったです

試合までの時間も空かないと有り難いです。

もう少し丁寧に時間を守って、態度と切り替えをもう少し大事にしたい。

雑巾掛けが難しかった。

掃除は大変だけど楽しかった。

ガムテープをペタペタするのが楽しかった。

体が痛かったが最後まで行えました。

就労体験楽しかった。

仕事が楽しかったです。

最初は不安でしたがなんとか頑張ってよかったと思います。

やったことを褒めてもらったことが嬉しかった

バスケットボールの試合会場を初めて見たので、色々と勉強になりました。

次回も就労体験があったら参加したいです。就労は気がまぎれることができるので良かったです。

今回のアンケートアプリは、とても使い勝手が良かったです。

またブレイブサンダースの仕事をやりたいです。

ブレイブサンダースはやりたい仕事でした

フロンターレとそれ以外を体験したい。

貴重な就労体験ありがとうございました。

体力を使用する仕事だったが、皆さんと協力できて良かったです。

他に就労してコツコツ貯めてお客さんで来たい！いつか・・・

今度は観戦したくなりました。

最初はカバーをふんだりしたが、最後は順調にやり遂げました。

アンケート調査・検証結果①

就労体験プログラムに参加した川崎市内福祉事業所の利用者様のアンケート結果（有効回答数：146名）

< その他感想など（自由記述で81名からの回答） >

来年こそは自分のやりたい仕事に就きたいです。
 意識調査アプリの操作性を改善してほしい
 今後も様々な就労体験に参加したいと思っています。
体を動かして作業を行うことが楽しかったです。
もっと社会で働きたい。
楽しくできれば何でもいいです。
 お客様に快適に過ごしていただくために、色々と努力していきます。
 また色々と参加したいです。
 今度はもっとできるようにしたい。
 仕事もして楽しかったです。
ボディソニック設営、体験が楽しかった
とても楽しく、また来たいと思いました。
 障害者の就労体験者だと見守る人が見ればわかる状態だったので周りの目が気になった。
 今日はありがとうございました。
 またできれば参加するようになりたいと思います
もっと色々な経験をしてみたかった
 立ち仕事が見つかったですが、自分にとってはいい経験になりました
これからも様々な就労体験を試してみたいと思います
仕事をして楽しかったです。

お金をもらうのは大変
 後半の就労体験で、ごみ収集作業をしているので、当日の観戦チケットをもらっても使用することができないなと思いました。
 かなり大変でしたが自分にとってプラスになったと思います。
 通しの就労体験がなくなるのがさみしい
 今回は楽しく体験できました。熱い社長、社員さんはかっこいいと思いました。
 後片付け作業の指示があいまいで分かりづらかった。
貴重な経験をさせていただきありがとうございました。
土日が参加できないことが心苦しいです。
 事業所単位で動けるようにしていただけると不安障害持ちなので、とてもありがたいです。
自分をもっと大切にしながら他者も大切に仕事をしたい

アンケート調査・検証結果②

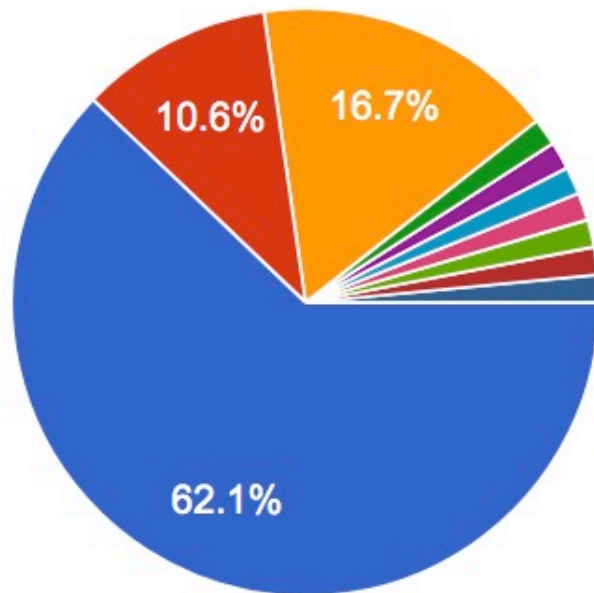
プログラムに同行した福祉事業所職員様のアンケート結果
(有効回答数：66名)

アンケート調査・検証結果②

プログラムに同行した福祉事業所職員様のアンケート結果（有効回答数：66名）

< 参加した利用者様の状態 >

- 「社会にでていくきっかけづくり」という、社会参加の第1歩目の状態の方が約6割を占める
- 事業所の目的である利用者様の就労（社会参加）に向けて、当プログラムを様々な目的でご活用頂けていることがわかる



- 社会に出て行くきっかけを作っていこうと思っているところ
- 企業就労に向けて事業所に通い始めたところ
- 企業就労を具体的に目指して活動しているところ
- コミュニケーションに課題を持たれている方
- 仕事の経験のため
- 施設外の仕事を知ってもらう
- 仕事の幅を広げてもらう
- 就労の方向性をさぐっている
- 動機づけの為
- 就労を目指すための活動

アンケート調査・検証結果②

プログラムに同行した福祉事業所職員様のアンケート結果（有効回答数：66名）

< プログラムに参加した理由・目的（自由記述で61名の回答） >

- ・ 働くこと・他者と関わること・社会というものを学ぶ場として活用されている
- ・ 外に連れ出すきっかけとして、ひきこもりの防止策としても活用されている
- ・ 支援者様のご意見から、特別支援学校卒業後から一般就労までの間に溝があり、事業所内でも社会経験を積むような機会を創出できていないことが推測される

社会経験を積ませるため

事業所以外の場所で就労体験してほしかった。

他の利用者と一緒に働いてみてほしかった。

就労準備のため

普段体験できないことを体験し、充実感や達成感を得ていただきたかったから。

充実感を味わってもらいたかったから。

人とのコミュニケーションが苦手な方もいるので、その練習にと思ったからです。

色々な就労体験に参加してほしかったため

就労準備のため、色々な作業や初対面の人とコミュニケーションをとる経験を重ねたい。

在宅生活が長く続いている方もいるので、外との交流の場としての参加となりました。

社会参加、自立に向けた準備のため

ご本人様の強い希望（前向きな意欲）があったことと、就労体験を積み重ねていきたい時期だったことから。

本人希望のため

引きこもり阻止のため

今まで経験したことがない就労体験だったこと。

暑い中での仕事に慣れてもらうため。

利用者さんの社会参加

体験してほしい（働くこと、役に立つこと、達成感）

慣れない環境で仕事に挑戦するということを体験してもらうため

対価を得る喜び、裏方で働く人たちがいるということの認知

施設外での仕事を体験してほしいと思った。

対人スキルの向上

就労に向けての準備をするため

ご本人たちの希望があったため

作業所以外の人とのコミュニケーションや、仕事に対する姿勢、仕事について考えてもらう。

再就職に向けた第一歩

就労のイメージを持っていただくため

皆さんに長時間働くことを体験していただきたかったため

就労への意識向上

職種（業種）の適性を考える機会提供

社会に慣れるため

就労についてどう考えていくか、自分の気持ちに意識して欲しかったため

作業所以外での仕事、仕事に対する姿勢、コミュニケーションについて学んでもらう

5時間働いた際に体力がどれくらい必要か実感していただくため

社会との関わりや積極性向上のため

初対面の人とのコミュニケーション

協調性、人との関わり、指示通りに仕事をする

グループホームでの生活が始まり一人で自己管理（全て）ができていくか見るため

すでに数回参加者がおり、上記1が目的。

自身に合った仕事内容に関する材料集め

働くことの意味を気づいてもらうこと

アンケート調査・検証結果②

プログラムに同行した福祉事業所職員様のアンケート結果（有効回答数：66名）

< プログラムに参加した理由・目的（自由記述で61名の回答） >

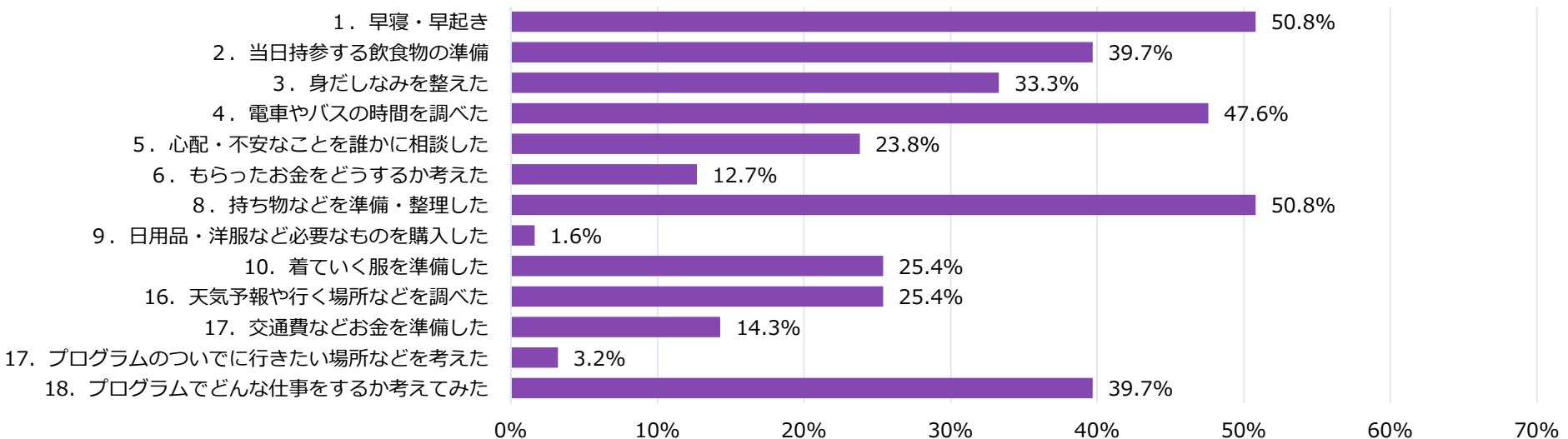
長時間の体験をしてもらうため
 働くために必要な体力を実感してもらうため。
 在宅になっているので、外に出る機会として
 経験の数が増やせるように
 事業所では体験できない事にチャレンジしてもらいたいため
 施設外のお仕事を覚えてもらい、興味を持ってもらいたい、
施設外での姿勢（対応）ができるか知りたい
色々な仕事を体験するため
 体力や他者との交流の様子を見る
 センター実習までの待機中で就労の経験をつんでもらうため
 稼働能力の確認
安心できる環境で就労（自身でお金を稼ぐ）の経験をつむ
就労のイメージをつくっていくため
 就労体験を通して色々な仕事に興味を持ってもらい就労意欲に繋げ
るため
 就労体験を通じて働くことに対しての意欲向上につなげたいと思っ
 たため
 本人が興味あるバスケを通して、就労体験することで、モチベー
ションを計れればと思い。
 外部での仕事を通して意欲の向上
 働いて賃金を得るという経験を覚えてもらい、就労に対するモチベー
ションを上げたかったため。
社会参加の準備、経験
 就労など社会参加に向けた準備、経験として
 自分の気持ちで態度や言葉遣いが変わるため、お客様の前では気を
 付けることを学ばせたかった。
就労のイメージ作り
 他者との交流

アンケート調査・検証結果②

プログラムに同行した福祉事業所職員様のアンケート結果（有効回答数：66名）

< 支援者様からみて利用者様がプログラム参加前に気をつけていたこと >

- 5割以上の回答を得られた項目の該当モジュールは以下の通り
 - ・ 生活の基礎をつくる（モジュール1.健康管理、モジュール4.時間管理）
 - ・ 自分の生活をつくる（モジュール8.そうじ・整理）
- 事前には、早寝早起・準備・身だしなみを整えるなど「生活の基礎をつくる」部分、持ち物や洋服などの準備など「自分の生活をつくる」部分、情報を調べる・想像して考えるなど「社会参加する」部分における学びがあることがわかった
- この結果は当事者アンケートと結果とほぼ同様の結果である



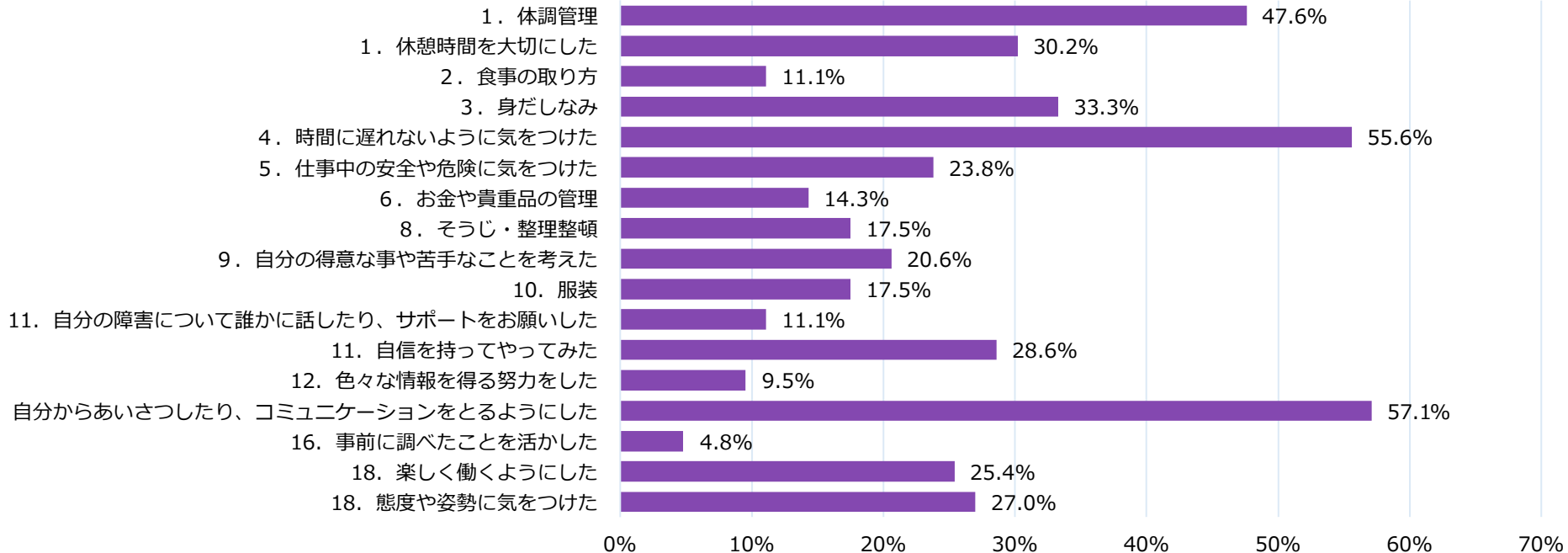
※ 番号は「社会生活力プログラム」のモジュールに沿った番号

アンケート調査・検証結果②

プログラムに同行した福祉事業所職員様のアンケート結果（有効回答数：66名）

< 支援者様からみて利用者様がプログラム参加当日に気をつけていたこと >

- 5割以上の回答を得られた項目の該当モジュールは以下の通り
 - ・生活の基礎をつくる（モジュール1.健康管理、モジュール4.時間管理）
 - ・自分の生活をつくる（モジュール8.そうじ・整理、モジュール10.衣類管理）
 - ・社会参加する（モジュール12.コミュニケーションと人間関係）
- 当日は、体調管理・身だしなみ・時間管理などの「生活の基礎をつくる」部分、
コミュニケーション・楽しく働く・態度や姿勢に気をつけるなど「社会参加する」部分における
学びがあることがわかった
- この結果は当事者アンケートと結果とほぼ同様の結果である



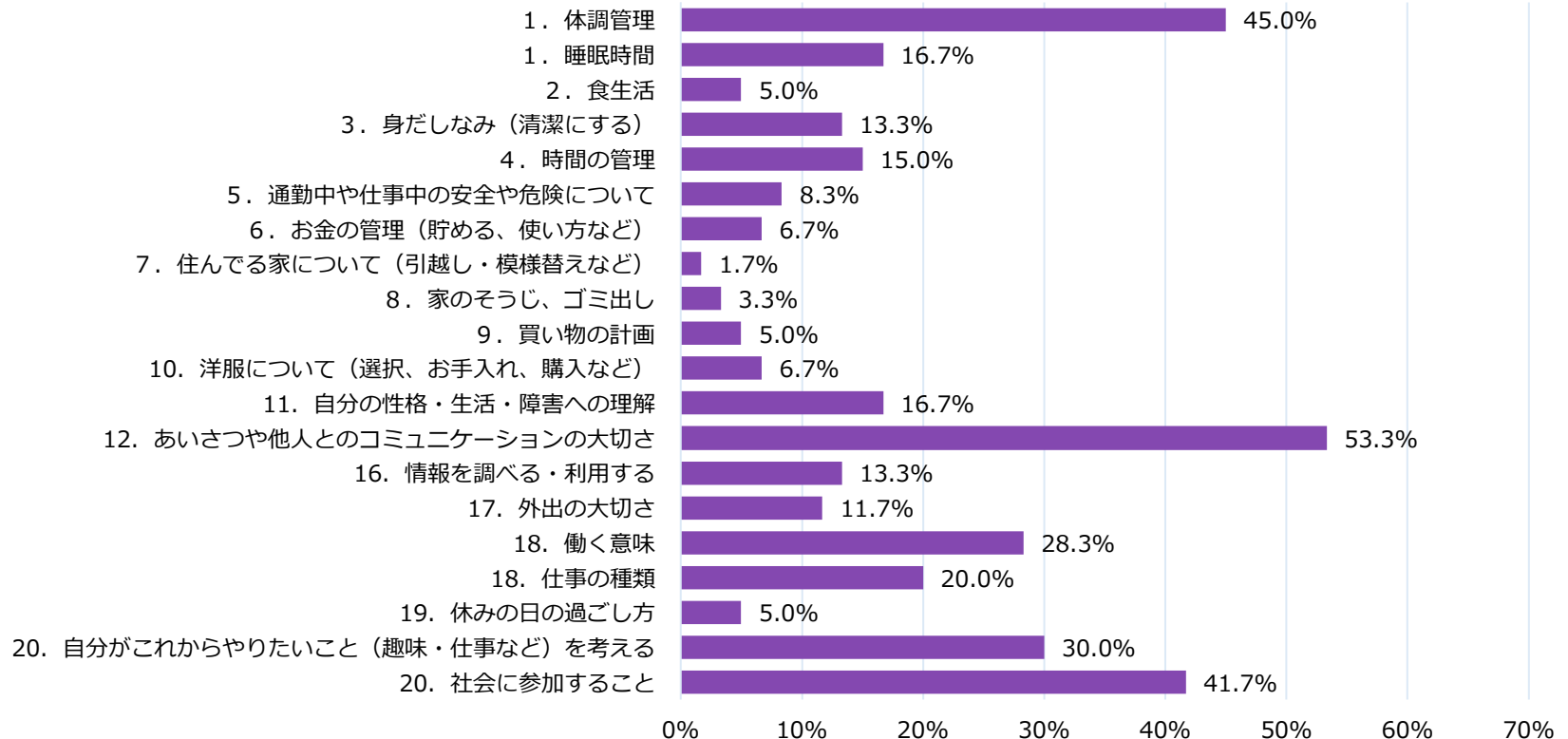
※ 番号は「社会生活カプログラム」のモジュールに沿った番号

アンケート調査・検証結果②

プログラムに同行した福祉事業所職員様のアンケート結果（有効回答数：66名）

< 支援者様からみて利用者様がプログラム参加後に気をつけていたこと >

- 5割以上の回答を得られた項目の該当モジュールは以下の通り
 - ・生活の基礎をつくる（モジュール1.健康管理）
 - ・社会参加する（モジュール12.コミュニケーションと人間関係、モジュール20.社会参加）
- 参加後は、体調・時間管理などの「生活の基礎をつくる」部分、コミュニケーションなどの「社会参加する」部分における学びがあった
- この結果は当事者アンケートと結果とほぼ同様の結果である



※ 番号は「社会生活カプログラム」のモジュールに沿った番号

アンケート調査・検証結果②

プログラムに同行した福祉事業所職員様のアンケート結果（有効回答数：66名）

< プログラムに参加して、利用者様が学んだこと（自由記述で57名の回答） >

- 社会に出ること、働くこと、チームワーク、協調性、コミュニケーションに関する学びがあったという方が多い
- 支援者様から見ても、働くという経験を通じて多くの人と関わるこのプログラムが、様々な学びを生んでいることがわかる

チームワークの体験

一般のお客様を対象にする緊張感、責任感

自分よりレベルの高い方と一緒に働くことで自分の課題を感じられたように思う。

社会に出ること、働くということが実感できたように思う。

お客様に自分から声を掛ける、大声で呼びかけるなどの躊躇しやすいことを思い切ってできたことは自信になったと思う。

社会に出て働くという学び。

働くということは体力が必要ということ。

自信をつけるきっかけになると思います。

楽しく人と関わることを学べたと思います。

今回の就労体験では、自分なりのお客様への配慮を行っていた。

接客や主催企業の方々・他の就労体験参加者と接する機会を得ることが出来た。

お客さんに“ありがとうございます”と言われることで、誰かに働きかけることの大切さと楽しさに気づくことが出来たかと思えます。

関わりが少ない生活を送っている方が多いため、こうやって沢山の人たちに関わるだけでも多くの学びがあると感じた。

疲労感を自分から相談する、頑張りすぎない、積極的に接客経験をすることなどたくさん学ばれたと思えます。

自身の体力や人と関わりながらお仕事をすることについて、ご本人にも考えるところがあったようで、いい経験になったと思う。

慣れていない場所で不特定多数を相手にお仕事をすることで「こういうこともできるんだ」と自分に対しての新しい発見があったようです。

アンケート記入のお願いの時にははじめは誰に？どんなタイミングで？声をかけていいか全くわからなかったが、支援者のサポートを受け、だんだんと自分で「あの人記入してくれそう」と言いながら近づくことができたことが本人の自信へとつながったと思う。

接客を通して人への対応や受け取りやすく渡す工夫をしていました。音の大きさが気になるか確認できた。

体験をして仕事をすればお金をもらうことが出来るということを実感すること

やはり、対価を得るということは利用者さんのモチベーションを上げ、心を豊かにする。表舞台で活躍することが全てではなく、そこには色々な人たちの想いやサポートがある。

仕事の種類、選択肢が増えたり、仕事に対する姿勢、他の作業所の方の働き方を学べると思いました。

大勢の人の中で働く経験

動きっぱなしの就労体験もなかなかないので、自分の体力、集中力を知るのにいい機会だったと思えます。

外部での仕事であることを意識した行動を行い、感じる事ができていたと感じました。

作業所以外での仕事の内容や、他の人（作業所）との協力をしていくこと。定期的に行うことで自信が付き、積極性につながっていくと感じました。

アンケート調査・検証結果②

プログラムに同行した福祉事業所職員様のアンケート結果（有効回答数：66名）

< プログラムに参加して、利用者様が学んだこと（自由記述で57名の回答） >

お客様に接する仕事を行い自分から挨拶するということが大事であることを学べたと思いました。

5時間、体を動かして働くことで、就労に向けてどれくらいの体力が必要か、気づきの機会となった。

通勤時間、方法 ・ ストレングス

実際に長時間、体を動かすことの大変さ

挨拶の大事さ、コミュニケーションの必要性

多くの人が集う環境に慣れる

短時間でも従事したことで生まれる自信を感じることができる

社会を実感する場

他事業所の方の仕事や協力していくこと。

副数人のチームで働くことに対するイメージがついたように思える。

一般のお客様や多数のスタッフと接して笑顔の大切さを感じているようだった。

多数の人と一緒に働く

久しぶりに他の人と関わりながらお仕事をすることということで、ご本人にも考えるところがあったようで、いい経験になったと思います。

指示命令に従い業務時間内に仕事を終える、業務の流れを体験できる機会と思います。また、利用者さんの1日の業務で疲労感をどう管理するかのよい学びの場であると思います。

接客をすることはわかっていたはずだが、身だしなみができていなかったもので、前日などに伝えていこうと思った。

体験することで、自分に合う仕事のイメージが決まった。

順序よく作業すること

1日同じことを続けて行うということも仕事であるということを知ってもらえたこと。

「できた」ということから自信が持てる。

知らない人と関わったり協力したりすることや初めての作業に取り組むことで自分の可能性を広げることができたと思う

どんな仕事に就いても、他者とのコミュニケーションが必要であること。夜まで働くことで、長い時間働くことができるという自信になりました。

就労体験前はモチベーションが低かったが、帰るときは表情が変わっていた。

いつもと違う環境でも、又対応する人が変わっても、問題なく仕事をすることができました。大きな音が嫌いとう耳を塞ぐことなく仕事をできていてよかったです。

外部の方とコミュニケーションを取る経験になりました。

持ち場が数カ所あり、いろいろな経験ができた

体を動かす作業をしたことで、自分の体力を知ることができ、仕事内容について考えるきっかけになったと思う。

文や写真だけではなかなかイメージしづらい就労についてを、体験することで具体的に学べる。

チラシ配布業の中で接客要素を学ぶ、他者との関わりが働く上で重要であることを学ぶ

髪の毛を黒く染めるなど意識が高まった。

持ち場が数カ所あり、色々な経験ができた。

いつもより長い時間働くことができ、自信になったと感じました。

基本、外に出る機会が少ない人たちのため、就労体験の日は1日を通してたくさんの気づきや刺激を受ける機会となり、良い学びの場になっている。

仕事として「働く」という意識、人が多くいる中で慣れるという経験自分の悩みを聞いてもらえないと態度に現れ、笑顔すら出てこない。

本人への課題が増えてしまった。

お客様とのかかわりを感じる

チームワークに参加する体験

アンケート調査・検証結果②

プログラムに同行した福祉事業所職員様のアンケート結果（有効回答数：66名）

< その他、感想等（自由記述で44名の回答） >

- 当プログラムへの評価や期待が高い
- 支援者様側からはアセスメントの場として有用な機会であることがわかる
- プログラムの運営の細かい部分についての指摘もあったので、次年度の運営改善につなげていく

この度は、貴重な経験をさせていただき、ありがとうございました。

外で働く緊張感など、ご本人をとっても成長させます。

もっと機会があるといいと思う。

遅刻者、欠席者がいて、ご迷惑をおかけしました。

ピッチまで下りることができ、臨場感ある場面が観れた。

職員として初参加でした。

就労体験がとても貴重な場であることが分かり良かったです。

いつもありがとうございます。

搬入・会場設営・接客・案内誘導など短時間ながら色々な業務を経験することが出来ました。

今回の配布物は数が少なかったこともあるのか人が群がり少し危険も感じた。

参加者の状態によっては対応が難しいこともあるように思います。

今回は急な申し出だったのにもかかわらず、ご丁寧に早急に対応していただき誠にありがとうございました。

当日もたくさんのご配慮をいただき感謝しております。

やることがないなら早めに時間を切り上げるのは可能ではなかったのか。

もう少し仕事内容が量、種類ともあれば良かったです。

次年度もよろしく願います。

いつもながら大変有意義だと思いました。

いつもありがとうございます。今後もよろしく願います。

災害で掃除が入り、いつもとはイレギュラーな就労体験になりましたが、今回は初めて参加した方が多くいた事、利用者さんの特性的にも、自ら発信して働くことが難しいため、もう少し適切な指示があると動きやすいと思いました。

車いす利用の方の仕事体験ができてよかったです。

出来そうな仕事にはチャレンジしていけたらいいと思います。

集合場所、川崎駅ではなく区役所（市役所）直接でもよかったですと思います。

会場がかなり混雑していて音響もかなり大きく、通行人とぶつかることもたびたびありました。参加する方の人選に注意が必要だと思いました。

いつもありがとうございます。

今後もよろしく願います。

ご本人として、気づきを得られなかった方もいたが、支援者としてはアセスメントを多く取ることができました。ありがとうございました。

ありがとうございました。また参加させていただきたいと思えます。

同じ仕事が続くと手を抜くことを覚えて、楽をしようとするメンバーさんがいる

体力や働くイメージ以外にも、指示理解のアセスメントを取ることができました。ありがとうございました。

アンケート調査・検証結果②

プログラムに同行した福祉事業所職員様のアンケート結果（有効回答数：66名）

< その他、感想等（自由記述で44名の回答） >

食事時間が短かったため、もう少し時間があれば利用者の気分転換になるかと思いました。参加は大変有意義なものでした。引き続き宜しくお願い致します。

共同作業が以前に比べると少なくなってしまった気がしました。初参加でしたが、ぜひ継続して応募したいと思います。ありがとうございました。

モップがけははじめにゴミを掃いてから行うこととメンバーさんには指導しているため、違ったやり方を告げると混乱してしまう。新しい経験ができました。ありがとうございます。

少ない人数のほうが、他のスタッフとのコミュニケーションが取りやすいと感じた。

経験の場をありがとうございます。

面談中心の通常支援であり、今まで見えなかった部分をたくさん知ることができました。

ご担当の方が穏やかな雰囲気の方で不明点について質問しやすかったです。

是非また参加させていただきたいと思います

今後、継続して利用を希望しているので、又、参加したいです。

いつも働く経験をありがとうございます。

参加者の症状などを事前にスタッフの方に伝えておいたほうが、当日スタッフの方もサポートしやすいと思った。

参加グループが1グループもあったと思うが、配布物の量が少し多かったように感じる。

貴重な時間をありがとうございました。

貴重な経験をいつもありがとうございます。

ゴミの分別作業時は手袋着用がいいと思います。